

社会保障審議会介護保険部会 前回までの経過

第1回部会（5月27日）

- 部会の進め方等について議論。

〔部会の進め方〕

- ・当面月1回程度開催。
 - ・9月までの間は、介護保険制度の施行状況についての検証を行うこととし、「保険給付の状況」、「保険財政の状況」、「要介護認定の状況」等について、順次議論を行い、論点を整理。
 - ・10月以降は、論点整理に基づいて順次議論をし、年末までに、論点項目についての検討を一巡。
- 事務局より介護保険制度等の実施状況について概括的な説明。
 - 各委員から、関心事項や問題意識等について意見表明。

第2回部会（7月7日）

- 介護保険制度の施行状況の検証の第1回目として、「保険給付の状況」に関し、事務局より資料説明。

〔説明のポイント〕

- ・ 3年間で給付が大幅に増大。
特に在宅サービスの利用が急激に増大。
- ・ 個別のサービスでは、①訪問介護サービス、②福祉用具貸与、③痴呆対応型共同生活介護（痴呆性高齢者グループホーム）、④特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム等）の利用が大きく伸長。
- ・ 都道府県別の給付状況をみると給付面で大きな地域差が存在。
- ・ 施設整備の状況と給付費の間には正の相関関係が存在。
- ・ 給付費の増大に寄与している要素は、
 - ①要介護5を中心とする重度要介護者の施設サービス給付費の増大
 - ②要介護1を中心とする軽度要介護者の在宅サービス利用者の増大
- 喜多委員、山本委員から、制度見直しに向けた意見書が提出され、両委員よりそれぞれ補足説明。
- 各委員からの資料要求（第3回部会以降に順次提出予定）。
 - ・ 制度創設時の給付見込と実態との比較
 - ・ 関係審議会等における報告書
 - ・ 痴呆性高齢者グループホームの設置主体等に関する資料
 - ・ 福祉用具貸与の状況
 - ・ 社会的入院の状況 等

本日御議論いただきたいこと

1 前回資料要求

- 「社会保障審議会報告」、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」に関する説明

2 前回からの積み残し

- 高齢者介護研究会報告書「2015年の高齢者介護」に関する説明

3 施行状況の検証② 「保険財政の状況等」

- 介護保険制度の施行状況の検証の第2回目として、「保険財政の状況等」に関し、資料説明、議論。

[議論のポイント]

- ・給付費の動向等を踏まえた保険料水準等の評価、今後の見通し。
- ・その他の事項
 - 第1号保険料（各保険者における設定状況、収納状況等）
 - 第2号納付金（推移、各制度における賦課状況等）
 - 財政安定化基金、調整交付金等の状況 等

4 次回予定

第4回部会（9月12日）・・・施行状況の検証③「要介護認定の状況」等

- 介護保険制度の施行状況の検証の第3回として、「要介護認定の状況」等について検討。
- 10月以降に向けた論点整理。